

滋賀県東近江市立箕作小学校

(概要)

- ・ 児童生徒数 (クラス数) : 520 名 (21 クラス)
- ・ 構造・階・面積・事業費 : RC 造、3 階建て、7,373.44 m²、24.1 億円
- ・ エコスクールの事業タイプ : 太陽光発電型、省エネルギー・省資源型、自然共生型
- ・ 整備期間 : (検討期間 : H17.7~H20.5、工事時期・期間 H20.6~H22.1)
- ・ 要旨

「人と環境にやさしい」、「安心・安全に配慮した」、「周辺環境に配慮した」、「多様化する環境教育に配慮した」、「地域に開かれた」学校づくりを基本理念にエコスクール化に向けて施設整備を行った。

(エコスクール化の内容)

- ・ エコスクール化の整備内容
 - 日除け対策で校舎棟にバルコニーと庇を設置
 - 環境配慮型照明器具 (センサー付) を設置
 - 電気式ヒートポンプエアコンの設置
 - 雨水貯留タンクを設置し、花壇・菜園の散水に利用
 - ソーラーシステムを設置し、校内照明電力に利用
 - ビオトープを設置
 - 自然換気システムを設置
 - LED照明の一部使用
- ・ エコスクール化に当たり配慮した建築的工夫
 - 省エネルギー、資源リサイクル等子どもからの視点で、施設整備を行い日頃から身近に接することにより環境意識を高めるように計画した。
- ・ 検討の際に課題となった点、
 - 熱源を電気で行ったが、ガス等比較し、CO2 排出量など鑑み決定した。
- ・ 今後、引き続き検討が必要な点
 - 照明器具において、一部 LED を使用したが、金額が下がれば、使用していく工夫が必要。



(体育館棟に設置した太陽光発電パネル)



(昇降口前のビオトープ)

(エコスクール化の効果)

- ・CO2削減効果や省エネルギー効果
本年4月から開校し、一学期間のみでの使用で、具体的な展開は今後の課題。校舎棟及び体育館棟に自然換気システムを導入しているため、暖かい空気を排出しているため、幾分内部の温度は下がっていると思われる。

(太陽電池出力発電量 kWh)

| | |
|----|--------|
| 4月 | 1, 197 |
| 5月 | 1, 323 |
| 6月 | 1, 116 |
| 7月 | 1, 161 |
| 8月 | 1, 395 |
| 9月 | 1, 129 |



(写真左上部：自然換気システム)

(環境・エネルギー教育への活用)

- ・エコスクール整備の計画段階で、環境・エネルギー教育に活用している状況
新設校の箕作小学校の環境教育について、施設整備の計画を行う際に、市内の学校の理科教員と意見交換を行い、提案などをふまえ、事業の展開を図った。
- ・学年や教科等ごとに、授業等で実際に活用している状況
学級菜園に井戸水を利用したり、雨水貯留タンクを利用して、散水などを行っている。
- ・地域の環境・エネルギー教育、意識向上に役立っている状況
新設校開校にあたり、高学年には、県産材の木製の机椅子のセットを配置した。このように子どもたちの身近なところに、環境を考えるきっかけをつくっている一例である。子ども自身が日頃から「気づく」、「疑問をもつ」ような学習施設として事業を展開していきたいと思っている。



(雨水貯留タンク)



(高学年に使用した県産材を利用した木製の机、椅子)